

このたびは、SR21Sa+b/SR21D2abをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この商品は、SR-21BBとSL-5000をセットにしています。
SL-5000をSR-21BBに装着すると、11Mbpsまたは54Mbpsの無線LANと通信できます。

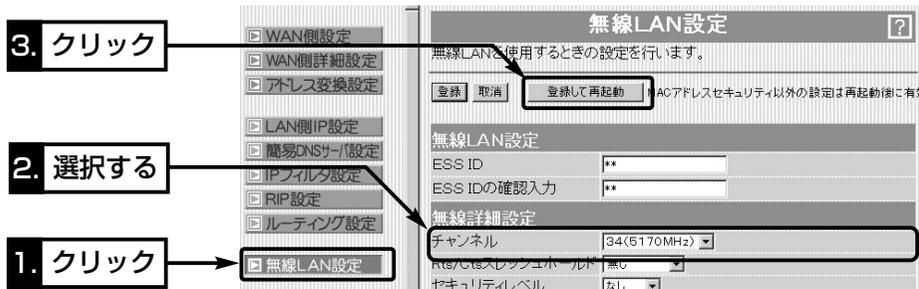
■ 54Mbps無線LANを使うには

本製品に付属の無線LANカード(SL-5000)をSR-21BBに装着して、54Mbpsで使用する場合は、SR-21BBの無線通信チャンネルを次の手順で変更してください。

※SR-21BBの出荷時の設定を変更するまでは、11Mbpsの無線LANと通信できるように設定されています。

〈変更のしかた〉

1. 11Mbps無線LANで通信できるパソコン、または本製品に有線LANで接続できるパソコンを用意します。
2. 本製品の設定画面にアクセス(SR-21BB取扱説明書5-1章)して、「無線LAN設定」メニューをクリックします。
 - 「無線LAN設定」画面を表示します。
3. 「チャンネル」を[無線LAN詳細設定]の[チャンネル]欄から選択します。
54Mbpsで使用できるチャンネルは、次の4チャンネルです。
34(5170MHz)、38(5190MHz)、42(5210MHz)、46(5230MHz)
(選択例：34(5170MHz))
4. 「登録して再起動」をクリックします。



■ 暗号化鍵(キー)値の入力について

[暗号化方式]と[入力モード]の設定によって暗号化鍵(キー)に入力する桁数および文字数が下記のように異なります。

※入力モードを「16進数→ASCII文字」または「ASCII文字→16進数」に変更したときは、設定画面上で「登録」をクリックしてから鍵(キー)を入力してください。

※入力できるキーの桁数および文字数は、暗号化方式()内のビット数に対する値です。

【無線LAN規格：IEEE802.11a/b】(54/11Mbps両対応カード装着時)/例：SL-5000

認証モード	入力モード 暗号化方式	16進数 (HEX)	ASCII文字
		オープンシステム	シェアードキー
		WEPRC4 128(104)ビット	26桁 13文字(半角)
		WEPRC4 152(128)ビット	32桁 16文字(半角)
		OCB AES 128(128)ビット	32桁 16文字(半角)

【無線LAN規格：IEEE802.11a】(54Mbps専用カード装着時)/例：SL-50

暗号化方式	入力モード 16進数(HEX)	ASCII文字
WEPRC4 64(40)ビット	10桁	5文字(半角)
WEPRC4 128(104)ビット	26桁	13文字(半角)
WEPRC4 152(128)ビット	32桁	16文字(半角)
OCB AES 128(128)ビット	32桁	16文字(半角)

【無線LAN規格：IEEE802.11b】(11Mbps専用カード装着時)/例：SL-12

認証モード	入力モード 暗号化方式	16進数(HEX)	ASCII文字
		オープンシステム	シェアードキー
		RC4 128(104)ビット	26桁 13文字(半角)
		AES 128(104)ビット	26桁 13文字(半角)
		AES 256(232)ビット	58桁 29文字(半角)

アイコム株式会社

本社 547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32 TEL 011-820-3888
 北海道営業所 003-0806 札幌市白石区菊水6条2-2-7 TEL 022-298-8211
 仙台営業所 983-0857 仙台市宮城野区東十番丁54-1 TEL 03-5600-0331
 東京営業所 130-0021 東京都墨田区緑1-22-14 TEL 052-832-2525
 名古屋営業所 468-0066 名古屋市白区元八事3-249
 大阪営業所 547-0004 大阪市平野区加美南1-6-19 TEL 06-6793-0331
 広島営業所 733-0942 広島市西区井口3-1-1 TEL 082-501-4321
 四国営業所 760-0071 高松市藤塚町3-19-43 TEL 087-835-3723
 九州営業所 815-0032 福岡市南区塩原4-5-48 TEL 092-541-0211

高品質がテーマです。

■ 暗号化を設定する

暗号化鍵(キー)の入力は、16進数またはASCII文字で[WEPキー]のテキストボックスに直接入力する方法と、[キージェネレータ]のテキストボックスに任意の英数字や記号を入力する方法があります。

ここでは、[WEPキー]のテキストボックスにASCII文字で直接入力する手順を説明します。
※[ASCII文字→16進数変換表]については、SL-5000のCDに収録された補足説明書を参考にしてください。

下記は、設定に必要なおまな条件です。

通信する相手の機器にも同じ設定をしてください。

[認証モード]：「両対応」(出荷時の設定)

[暗号化方式]：「WEP RC4 128(104)」ビット

[入力モード]：「ASCII文字」

[キーID]：「2」

〈設定のしかた〉

1. SR-21BBの設定画面にアクセス(SR-21BB取扱説明書※5-1章)して、「無線LAN設定」メニューをクリックします。
 - 「無線LAN設定」画面を表示します。
2. [セキュリティレベル]を「カスタム」に選択します。
3. [暗号化方式]を「WEP RC4 128(104)」に選択します。
4. [入力モード]欄で、「ASCII文字」のラジオボタンをクリックします。
5. [WEPキー(選択)]欄で「2」のラジオボタンをクリックします。
6. 〈登録〉をクリックします。

8. クリック

※次ページで「7.」を操作後、「8.」を操作します。

6. クリック

2. 選択する

1. クリック

3. 選択する

4. クリック

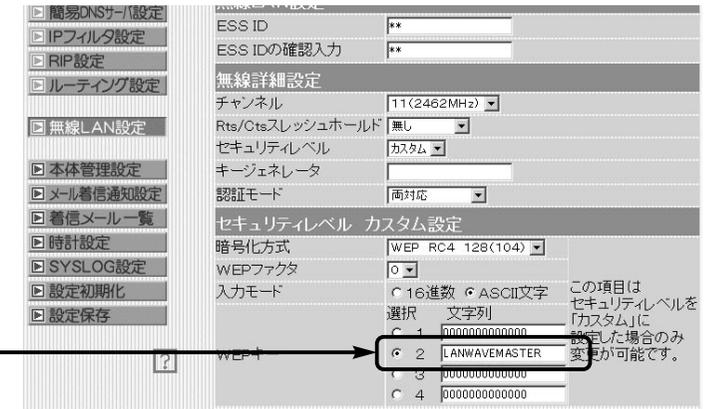
5. クリック



■ 暗号化を設定する〈設定のしかた〉つづき

7. [選択]のラジオボタンが「2」のテキストボックスにASCII文字を入力します。
(入力例：LANWAVEMASTER)
8. 〈登録して再起動〉をクリックします。

7. 入力する



■ キーIDの設定について(※Windows XP Service Pack1を除く)

弊社製無線LAN機器の[キーID(WEPキー)]の選択範囲は、「1」～「4」ですが、Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続の選択範囲は、「0」～「3」になっています。SR-21BBで、「2」を選択した場合は、Windows XPの[キーのインデックス(詳細)(X)]で「1」を設定するのと同じ意味になります。

■ 暗号化方式の互換性について

弊社製無線LANの暗号化方式には、次の3種類があります。

SL-5000は、[OCB AES]と[WEP(RC4)]に対応しています。

暗号化方式には互換性がないので、通信を行う相手間で、暗号化方式とビット(bit)数を同じに設定してください。

また、暗号化鍵(キー)の設定についても通信を行う相手間で同じに設定してください。

【WEP(RC4)】：IEEE802.11b規格の無線LAN機器で一般に搭載されているセキュリティで、RC4(Rivest's Cipher 4)アルゴリズムをベースに構成されています。

暗号化するデータのブロック長が8ビットで、暗号化鍵の長さ(64/128/152ビット)を選択できます。また、シェアードキーによる暗号化認証にも対応しています。

※152ビットは、無線LANカードによって非対応の場合があります。

【AES】：WEP(RC4)より強力な次世代暗号化方式です。

暗号化するデータのブロック長が128ビットで、暗号化鍵の長さ(128/256ビット)を選択できます。

※一部の弊社製無線LANカードでは、[AES]という暗号化方式に対応している製品がありますが、SL-5000の[OCB AES]とは互換性がないのでご注意ください。

【OCB AES】：AESより強力で、標準化が推進されている次世代暗号化方式です。